

## 5 用語解説

本文中の※を記載した単語について掲載しています。

### あ行

#### アニメーション（17頁）

事前に本を読み、その内容に関してゲームをすること。子どもが潜在的に持つ「読む力」を引き出し、本を理解し、深く考え、自ら進んで読書を楽しむことができるようにする働きかけること。

#### ＬＬブック（23頁）

ＬＬはスウェーデン語 Lätläst(レットレースト)の略（英語ではeasy-to-readとも言われる）。やさしく読みやすく書かれた本。読むことに障害のある人に向けて「読みやすい図書」が様々な考えられている。

#### オリンピック・パラリンピック教育（14頁）

オリンピックの理念（オリンピズム）、パラリンピックの理念について学ぶとともに、オリンピック・パラリンピックの価値を体験的に教える教育的活動。調布市でも東京2020大会に向けて取り組みを行っている。

### か行

#### 学校読書調査（4頁）

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について毎年行っている調査。

#### 『このほんよんで！ 第2版』（15頁）

市立図書館員が読み聞かせの実践を踏まえて選んだ絵本リスト。昭和60年度に初版発行。平成22年度に第2版を刊行。市内の各図書館で頒布している。

### さ行

#### 小学生読書会（17頁）

毎月第1日曜日に、小学4年生から6年生までを対象に行っている読書会。本の世界の楽しさを知ってもらうため、テーマに沿って、幅広い分野の本の紹介や読み聞かせ、工作などを行っている。

#### 『小学生にすすめる本 第2版』（15頁）

市立図書館員が選んだ小学生向けの推薦図書リスト。平成7年度に初版発行。平成25年度に第2版を刊行。市内の各図書館で頒布している。

#### ストーリーテリング（11, 13頁）

読み手が昔話や創作の物語を覚えて、本を見ずに語り聞かせること。語りや素話ともいう。

#### 選書（10, 14, 20, 25頁）

図書館の蔵書の充実度、利用頻度、利用者のニーズを考慮し、個々の資料を図書館で収集するかどうか決定すること。調布市立図書館では、「調布市立図書館資料の収集・保存・除籍に関する基本的方針」及び各分野の収集方針に沿って選書を行っている。

### た行

#### 調布市防災教育の日（12頁）

実効的な防災教育の充実と「震災時対応シミュレーション」の検証を図るため、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、学校・保護者・地域の連携による防災教育と防災訓練を、調布市立小・

中学校全校一斉に実施している（平成24年度から実施）。

### 適応指導教室「太陽の子」（21頁）

心理的要因等により不登校状態にある児童が対象。教育活動を通じて、自立と集団生活への適応力を育てることを目指す。

### 図書館ガイダンス（20, 23頁）

市内の公立小学校3年生全クラスが対象。地域の小学校と連携し、最寄りの分館又は中央図書館で、図書館の使い方の説明、本の紹介、読み聞かせ、ストーリーテリング等読書への動機づけを目的に実施している。

### 図書館公式キャラクター「じろ」

（2, 17, 24頁）

平成28年度の調布市立図書館開館50周年を記念したキャラクター。その後、調布市立図書館の公式キャラクターになった。市の鳥メジロをモチーフにしている。



図書館公式キャラクター「じろ」

## な行

### 布の絵本・布の遊具（12, 23, 30頁）

布地やフェルトで作られている絵本・遊具。ボタンやマジックテープなどでしかけが施され、楽しく遊びながら障害のある子どもたちの成長・発達が助けられるよう工夫されている。

## は行

### パネルシアター（13, 27頁）

布地のパネル板に絵または文字等を貼ったり外したりしてお話、歌遊び、ゲーム等を展開して行う表現方法。

### ビブリオバトル（8, 11頁）

知的書評合戦ともいう。発表者が順番に本の紹介をし、全ての発表終了後、全員が「一番読みたくなった本」に投票をして最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。「本を通して人を知る 人を通して本を知る」というコンセプトで図書館、書店、小中学校等で行われている。

### 複本（14頁）

図書館で複数冊所蔵している同じ図書。

### ぶちねこ便（17頁）

中学生の「記者」たちが、日常生活での体験や感想・意見・詩、特集などを編集し、毎月市立図書館が発行している小冊子。「活字離れを防ぐために全て手書きで作業をする」、「中学生の視点で物事を観察する」という理念のもと、昭和59年度に創刊し、平成26年度に創刊30周年を迎えた。

### ブックスタート（19, 29, 40頁）

絵本を介して乳幼児と保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる事業。1992年イギリスで始まり、日本では2000年の子ども読書年を契機に、子育て支援・読書推進事業として広まった。

### ブックスタートパック（19, 40頁）

平成13年度から、1歳6か月児健康診査時に絵本リスト『このほんよんで!』（ブックスタート版）と図書館利用案内とをセットにしたブックスタートパックを配付。平成19年度からは、3・4か月児健康診査時にも、リスト『赤ちゃんは絵本がだいすき!』を配付している。

### ブックトーク（11, 13, 17, 45頁）

特定のテーマに沿って本の紹介をすること。エピソードや主な登場人物，あらすじも含め，聞き手に本を読んでもらうことを目的に紹介する。

### Prime～高校生の今～（17頁）

高校生世代の「記者」たちが，記者の目線で普段感じていることや思ったこと，調べたことなどを記事にし，市立図書館が発行している小冊子。平成28年度創刊。

## ま行

### マルチメディアDAISY図書

（13, 21, 23頁）

読書をサポートする電子図書。パソコンなどで再生すると，画面に文字や挿絵が表示され，文章を読み上げる音声流れる。音声で読み上げられている部分がハイライト（反転表示）され，読んでいる箇所や読み方を目と耳で確認しながら読むことができる。

## や行

### YA（ヤングアダルト）（14, 23頁）

おおむね12歳から18歳までの中高生世代のこと。

### ユーフォー（28頁）

放課後等に学校施設を利用して，児童に遊び場・居場所を提供する事業。友だちと夕方まで優しく遊ぶことから，友だちの「友」，夕方の「夕」，優しいの「優」，遊ぶの「遊」，「ゆう」が4つでユーフォーと名付けられた。

### ゆりかご調布事業（2, 29頁）

平成28年度からすべての妊婦と保健師等の専門職が面接を行い，面接後に絵本等のギフトをお渡ししている。

登録番号  
(刊行物番号)

2018-271

### 第3次調布市子ども読書活動推進計画

平成31年3月発行

発行 調布市

編集 調布市立図書館

〒182-0026 調布市小島町 2-33-1

電話 042-441-6181

印刷 庁内印刷